

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

記入日 2018年 5月 30日	
派遣プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学	ユヴァスキュラ 大学 (国名:フィンランド)
所属学部・学科等名	教育学部
在籍身分	交換留学生
留学期間	2017年8月1日～ 2018年5月31日

1. 留学するまで	
留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	長年フィンランドでの生活に憧れていたから。 近年、教育・社会・文化面など幅広い分野で注目されているので、どのように社会が成り立っているのか気になった。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	大学入学直後(応募する半年前頃)から。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	IELTSは広島で行われる回数が少ないので、語学試験を早めに予約しておけばよかった。 申し込みが試験の何ヶ月か前にあり、締め切りが早いので間に合わず大阪まで受けに行くことになった。

2. 渡航について	
ビザについて	ビザの種類: 在留許可
	ビザ申請先: 在日フィンランド大使館
	提出書類: 申請書・パスポート・留学先大学からの許可証・銀行の残高証明書・保険証明書・パスポート用の写真
	手続きに要した日数: 1～2週間
その他必要な事前手続き	保険加入・留学開始月の家賃の国際送金・留学先での授業計画書・所属学への留学願い
出国年月日	2017年8月8日
経路(往路)	中部国際空港～ヘルシンキ・バンター空港(直行便)
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有(大学関係者・その他) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有(期間:一週間 内容:授業登録方法・試験登録方法・図書館や食堂の使い方など) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2018年5月25日
経路(復路)	ヘルシンキ・バンター空港～中部国際空港(直行便)

3. 留学費用について

支出額	総額	約96万5000	円	
	内訳	渡航費（往復）	16万	円
		ビザ申請手数料	40,700	円
		予防接種費用	なし	円
		保険料	80,750	円
		教材費（授業料以外の学費）	1,300	円（授業二つ分：授業によって異なる）
		宿舍費（住居費）	32万7000	円（最初に家具代など+33,000円）
		光熱費	宿舍費に含まれる	円
		食費	30万7000	円
		通信費（インターネット・携帯）	38,860	円（インターネット・通話・SMS）
		交通費（宿舍－大学間）	9,310	円（自転車購入費）
		交際費		円
その他（ 費）		円		
（ 費）		円		
（ 費）		円		

4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	英語の授業や教育学の授業、フィンランド語の授業などを履修した。その授業で取得できる単位数によって総時間数は違うが、英語の授業は週一回×1.5時間、フィンランド語は週三回×1.5時間だった。聴講型の授業もあるが、基本実践的。発言・発表する場面や練習場面がかなり多い。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてのアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	私は2年時に留学したので、帰国後も授業をたくさん取らなければいけなかった。もう少し留学前に単位を取得すればよかったと思った。私は一つ一つの授業とその課題に集中したいと思ったので、基本は一日に授業一つだった。広島大学の授業と単位交換できそうな授業の中で興味があるものを履修した。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	日本と明らかに違うのは、毎回意見を言う場面が多くあること。最初は発言するのにためらわれたが、どのみち聞かれるので自分から言うようになった。 先生とは名前前で呼び合うので質問もしやすく、おしゃべりもできる。また、授業以外でも気軽に関わることができる。（私は車で遠くに買い物に連れて行ってもらったりしました。）

5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居の広さ	約 m ²	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（2人） <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ベッド・机など必需品 ）		
住居費	1ヶ月当たり	244€（現地通貨）	約 32,700 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	部屋は年中21度に設定してあるので過ごしやすい。また、留学生ばかりの寮はパーティーでうるさいので私は希望して静かなところを選びました。寮によって家賃が違います。		

(2) 医療について	
保険の加入先	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他 ()
保険の補償内容	補償額 死亡 10,000,000 円、 入院 1 日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 (種類: 回数: 医療機関名:) <input checked="" type="checkbox"/> 無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	日本よりも社会保障が充実しているため、無料で受けられるサービルの多い。大学の保険サービスも利用可能。 日本とは保険が利かない部分が違う。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	日照時間や日光の不足によって気分が重くなる人もいる。現地の人もビタミンDを毎日摂取している。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと	
朝も夜もフィンランドでは危険を感じたことはない。しかし、暗いのでライト点灯や反射板の着用が必須。また、冬は雪で滑ることがあるので自転車は危険。歩くときも冬用のブーツを着用する必要がある。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
物価が高いので、ほぼ自炊をしていました。日本の調味料は割と揃うので日本食はなんでも作れます。学食は安い。また、カフェなどで学割が効くところが多いので、外出するときは学割があるか聞くといい。アジアマーケットには日本の食品もたくさん売っているが、かなり高くなっている。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
乾燥しているので夏はかなり過ごしやすいが、冬は保湿が重要。雨や雪が降ったときのために上着は防水のものが便利。また、冬はかなり寒いので下から上まで防寒対策をしっかりとしないとはいけません。	
(5) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)	
大学内やバスやその他店の中も年中24時間に設定してあるので快適。 また、大学はもちろん、ほぼどこに行っても無料のWi-Fiが飛んでいる。バスや電車の中にもWi-Fiだけでなく充電もできる。	
(6) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
私の場合、フラットメイトがフィンランド人だったのでフィンランドの文化や社会問題などリアルな話を聞くことができた。また、実家にお邪魔させてもらった。日本文化が好きなフィンランド人用のサークルのようなものがあったり、日本語の授業に参加させてもらったりした。他の国の留学生は一年間留学してフィン人の友達がいなくて一人もいないと言ってる人もいたので、日本人は割と現地学生との関わりが多いと思う。	
(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
フィンランド人は日本人と似ていると言われているので、私にはとても過ごしやすい環境だった。日本のように他人との距離を置き、通行人と目があっても微笑まない。 しかし、フィンランド人は他の人の話を遮らないので、相手が話している最中に質問したり、話を変えたりしないように気をつけなければいけない。	

(8) 日本から持っていくべきもの、持っていきべきでないもの
食品で手に入らないものと、手に入るが割高なものは、味噌・鶏がらスープ・豆板醤・日本のマヨネーズ・だし・お好みソース、など。また、機内持ち込み用のスーツケースが旅行に便利だった。薬は一式多めに持っていくべき。翌年用のスケジュールや日本のお土産、勉強道具なども必要だった。 半袖はあまり要らない。
(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス
フィンランドではほぼカード払いしかしなかったため、複数クレジットカードを持っていくべき。個人的にオススメなのはマネパカードというもの。いろんな国で現金も引き出せます。自分はマネパカードに加え、その他二つクレジットカードを使っていました。生活費と旅費や交際費で使い分けていました。

6. 帰国後の進路について	
卒業予定年月	2020 年 3 月 (当初の卒業予定年月 2020 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	未定。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	二年時に留学したためなし。

7. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
スオミの旦那と一生一笑	http://suomi-isshoissho.com/	フィンランド在住の日本人ブログ。留学にも役立つ情報がたくさん。
フィンランド語が面白いほど身につく本	中経出版	フィンランド語学習の定番本。基本的な文法や会話のわかりやすく学べる。

8. 後輩へのメッセージ
フィンランドはとにかく住みやすいです。(個人的には日本より断然住みやすいと思いました。)フィンランド語が全くできなくても問題ないほど皆英語が話せます。旅行するには高いですが、住むにはとってもオススメです。フィンランド人と日本人は性格が似ていると言われているので、馴染みやすいかと思います。

9. 自由記述 (1,200 字程度)

① 留学を終えて

私は大学入学前からフィンランドに留学しようと思っていたので早めから留学準備をしておき、とても充実した生活になりました。留学前からフィンランドについては色々調べていたつもりでしたが、実際に生活してみないと気づかないことや、フィンランド人に話を聞かないと知り得ないことがたくさんありました。

10ヶ月間はあっという間です。現地の大学で知り合った様々な人と関わる中で一番感じたことは、人によって考え方が様々だということです。皆個性豊かで、刺激を受けたことも大変だったこともあります。その中で前よりも自分を客観的に見て、分析できるようになったと思います。

② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事

私が留学中に目標としていたことは、日本ではできない事を経験する、ということです。自分とすごく合う友人ができたり、テレビでは知り得ないフィンランドや他の国のリアルな社会に気づいたり、日本や自分を客観的に見ることができたり、など留学中は本当に大きな出来事ばかりでしたが、一番大きかったのは、次の新しい目標を見つけることができたことです。ある国を訪れた時に会った、様々な人の話や生き方を聞いたり見たりしている中で、帰国後に挑戦したいことを発見することができました。いろいろなことに挑戦してみると、意外なところで大きな出来事に出会えたりするのだなと感じました。

③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点

フィンランドで生活してよかったな、と思うことは自分にすごく合ったゆとりある生活を送ることができたことです。日本では、毎日通学と授業とバイトで忙しかったため、ゆっくり考え事をする余裕がなかったのだと気づきました。フィンランドでは、毎日ゆっくりコーヒーを飲んだり、休日に森や湖に出かけ座って過ごすということが多くありました。時には1人で、時には友人と話を楽しみ自分たちの将来のことや日本のこと、フィンランドのこと、ほかの国のことなど色々話しました。そんな生活を10ヶ月していると、日本の社会についてや自分の立ち位置や考えなどを客観的に考えてみるが多くなったと思います。留学前までは、あまり政治や社会について興味もなかったし考える時間もなかったけれど、フィンランドで生活していくうちに、外国の社会と日本を比較し、考えるようになったことが自分にとって一番大きかった成長の1つだと思います。

④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか

上でも述べたように、留学中に新たな目標を見つけたのでそれに挑戦するつもりですが、その目標は留学中に経験したことや考えたこと、気がついたことなど幅広く活かせるものです。そのためだけではなく、勉学にも活かすことが出来ると思います。留学中に興味を持った事柄がたくさんあり、それに関連した授業を広島大学で履修予定です。留学での経験を自分の中だけで留めるのではなく、発信していきたいとも思います。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。